

III. 社内外の評価及びご意見



第16回 九州電力環境顧問会

2017年2月15日に「第16回 九州電力環境顧問会」を開催し、当社の環境への取組みについて、様々なご意見をいただきました。環境顧問会での主なご意見とその対応方針についてご紹介します。

九州電力環境顧問会委員（50音順、敬称略）



あさの なおひと
浅野 直人
福岡大学名誉教授



おおつか まさお
大塚 政雄
環境省環境カウンセラー
(市民部門)



かど ひさよし
門 久義
鹿児島大学名誉教授



つる た さとし
鶴田 暁
環境テクノス(株) 会長



なが た こ
詠田 トキ子
NPO法人
みやざきエコの会理事長



はやせ たかし
早瀬 隆司
長崎大学大学院 水産・
環境科学総合研究科 教授



会議風景

(注)早瀬委員は都合により欠席されたため、別途ご意見をいただきました(顔写真は第14回(2014年12月)のものを使用)。ご所属は2017年1月末時点で記載しています。

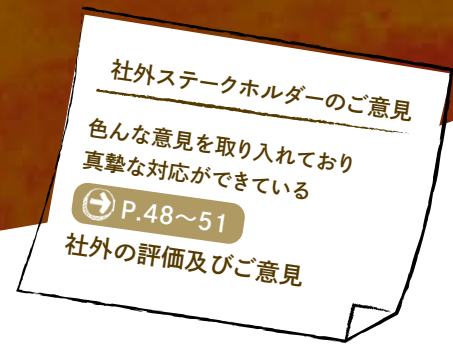
《 ご意見の概要と対応方針 》

主なご意見	今後の対応方針
<p>【家庭部門での省CO₂に向けた取組み】 ○家庭での省CO₂を促す取組みに着目した点は大きい評価できる。家庭からのCO₂排出量の類似家庭との比較はぜひ行うべき。省CO₂は行政も一生懸命行っているため、今後、構築を検討している省CO₂アドバイスツール*を広く活用してもらうためには、もっと行政や温暖化防止センターと連携し、市政だよりなどを通じて紹介することも必要となるのではないか。 ※環境家計簿の機能を改善し、省CO₂に関するアドバイスも提供できるツール</p>	<ul style="list-style-type: none"> 省CO₂アドバイスツール(平成29年度上期システム構築、下期検証・運用開始予定)については、例えば、福岡県地球温暖化防止活動推進センター運営委員会を通じて福岡県の広報誌等での紹介ができないか相談・依頼を行うなど、自治体等と連携したPRを検討します。その際、2030年に向けて家庭部門で必要とされるCO₂排出削減量や、家庭でできる省CO₂への取組みについても、あわせて紹介していきます。

用語集をご覧ください

●環境家計簿

第16回 九州電力環境顧問会	48
環境アクションレポートの読者アンケート	50
エコ・マザー活動におけるアンケート	51
環境に関するお問い合わせ等への対応	51
社外評価	51



主なご意見	今後の対応方針
<p>【家庭部門での省CO₂に向けた取組み】</p> <p>○省エネは普通の生活を続けると2~3年後には限界があるので、上手に節電している家庭の好事例を発信していくと、家庭での徹底した省エネに向けて参考となる可能性がある。また、省エネが進んでいない家庭に対しては、家電製品を買い換えるだけでも省エネ効果が大きいことをPRすればよいのではないかと。</p> <p>○家庭用エアコンを取り外す際にフロンの回収が徹底していない現状や、フロンの地球温暖化への影響などを紹介するなど、CO₂以外の温室効果ガス（フロン）もPRの対象にすべきではないかと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 省CO₂アドバイスツールを通じて、上手に取り組んでいる家庭の好事例を調査・整理するとともに、その好事例を各家庭に提供する省CO₂アドバイスの内容に反映するなど、各家庭への水平展開を支援します。あわせて、省CO₂アドバイスの中で、経済産業省が提供する最新の「省エネ性能カタログ」等を活用して、最新の家電製品への買い換えなどによる電力使用量・CO₂排出量の削減効果に関する情報提供を行います。 平成29年度上期末目途に、CO₂排出抑制に関する情報について体系化した特設サイト（CO₂ポータルサイト）を当社ホームページ上に立ち上げ、その中で、温室効果の非常に高いフロンガスの排出による影響、家庭用エアコン取替時にはフロン漏洩防止のため専門業者を通じた適切なフロン回収・処理が必要であること等を発信していきます。
<p>【情報発信の改善】</p> <p>○情報発信については、環境省でもよくホームページで発信しているが、ある程度、紙で啓発する方法の継続も有効。また、紙媒体はお客さまの手に届かなければ意味がないため、どう配るか工夫が必要ではないかと。</p> <p>○次世代教育に活用しているパンフレットについては、表題・テーマを「地球温暖化」としているが、「気候変動」を意識した内容にしてもいいのではないかと。気温が上がっていることよりも、それによる台風や洪水の増加などの異常気象の方が問題である。</p> <p>○啓発活動、地域貢献活動などの情報発信については、事業所のお客さま向け掲示板等、人通りがあるところに掲示することが有効であり、また、坊ガツルの野焼きなどの活動を8月11日の「山の日」に合わせてPRすると多くの方が見るのではないかと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 紙媒体での環境情報発信については、次世代（小学校高学年）を主な対象とする環境ダイジェストを、親子での参加が期待できる事業所オープンデー、Play Forestやくじゅう九電の森での環境教育とタイアップし、環境担当自ら説明・手渡しする機会を設けるなど、積極的な活用・配付を行い、その状況を把握します。また、環境ダイジェストの各記載項目近くにQRコードを貼り付け、レポートを含めたホームページの詳細情報をスムーズにご覧いただけるよう工夫していきます。 温暖化パンフレットは、小学生の温暖化への理解促進を図るため、気候変動により災害（ゲリラ豪雨、大型台風、夏の猛暑等）が多発している現状の紹介などにより、地球温暖化問題を身近に感じるような内容に改善していきます。 ホームページ、Facebook等での電子媒体による情報発信に加え、営業所の道路に面した掲示スペース等の社外の方の目につく場所にポスター（坊ガツルや耳川水力での環境に関する取組み）の掲示・PRを行います。
<p>【九電みらい財団】</p> <p>○坊ガツルでの野焼きをはじめとした環境保全活動は、大分・熊本などの一部の地域のためではなく、九州全体の価値向上に貢献していると実感できるようなPRの仕方が重要ではないかと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 坊ガツル湿原は、国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録されるなど、九州を代表する自然であることから、この保全に取り組むことは九州の財産を守ることであり、九州全体の価値向上に繋がることを、活動のお知らせや活動実施状況の発信の機会にPRしていきます。

📖 用語集をご覧ください

- フロン
- 地球温暖化
- 気候変動
- ラムサール条約

環境アクションレポートの読者アンケート

2016年6月に発行した「2016九州電力環境アクションレポート」の読者アンケートを通じて、九州電力グループの環境活動のあり方などについて、501名の皆さまから貴重なご意見をいただきました。ご協力いただき誠にありがとうございました。

2016年度は、「レポートのわかりやすさ」、「環境への取組みの評価」が、ともに2015年度より低い結果となりました。2017年度については、当社がお伝えしたい内容を「特集(P.5~8)」として紹介するとともに、主な取組みをハイライトで紹介するなど、読者の皆さまにより親しみやすくご理解いただけるよう、環境アクションレポートのダイジェストとあわせて発行しています。

《九州電力の取組みについて、ご関心を持たれた項目と、その理由やご意見》

(回答者数=501)

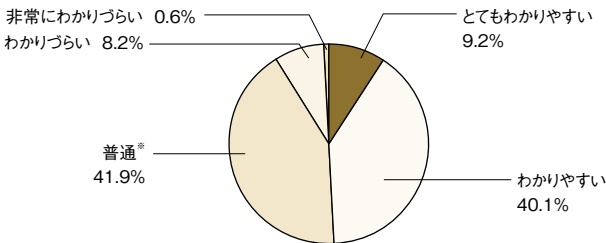
ご回答が多かった項目(上位5項目)	選択数			主な理由・ご意見
	最も関心あり	関心あり	合計	
1 特集1 再生可能エネルギーの最大限の受入れへの取組み 大容量蓄電システム需給バランス改善実証事業	96	56	152	・太陽光を無駄なく活かす設備の導入を今後も拡大し、クリーンエネルギーをミックスした安定供給を願う ・再エネの導入拡大に向けた取組みが進められていることを知り安心した
2 安全の確保を大前提とした原子力発電の活用	71	78	149	・電力の需要を賄うためには、水力では不足すること、火力ではCO ₂ が発生することを踏まえると原子力の活用が必要 ・安全の確保だけでなく、常にもしも想定した活動を求む
3 原子力発電所の放射線管理	59	54	113	・放射線は一番身近な心配の種であり、その管理は廃棄物処理を含め最大の関心事 ・現状で一番の関心事であり、安全に対する無理や過信がなく正直であることを望む
4 特集2 温室効果ガスの削減に向けた取組み 原子力発電の活用による温室効果ガスの削減	46	50	96	・日本の温室効果ガス削減に対する課題認識がなかったため、レポートを読んで九電が努力していることを知った ・CO ₂ は地球規模の懸案であり、エコ発電も原子力に代わる発電量をカバーできる程ではないため、クリーンで安定供給できる電力として原子力のPRが必要
5 お客さまとともに進める省エネ活動	33	58	91	・エアコンなどの消費者目線での省エネ活動の紹介があると嬉しい ・利用者側の意識に個体差があるため、省エネ意識の低い方達の意識改革として、ネット広告・動画や多くの人が集まる場所での普及活動が必要

(注)「最も関心あり」の選択数で順位付け。最も関心ありは1つ、関心ありは4つまで選択可能。

《2016九州電力環境アクションレポート アンケート結果》

レポートのわかりやすさ

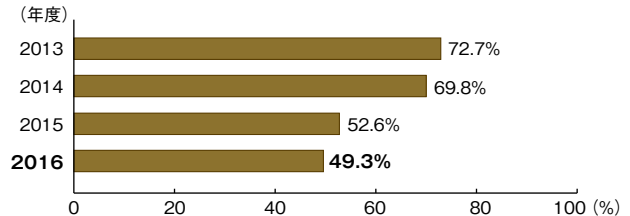
(回答者数=501)



《ご意見の経年変化》

レポートのわかりやすさ

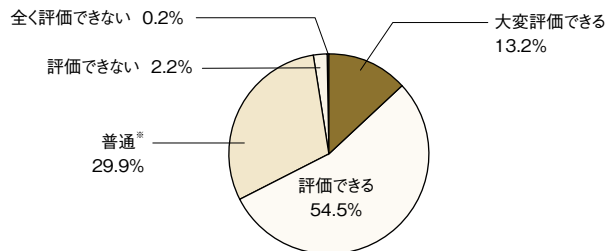
(回答者数=501)



(注)「とてもわかりやすい」、「わかりやすい」の回答割合。

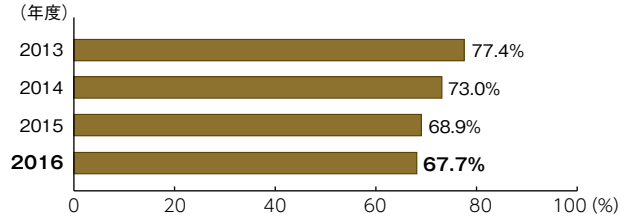
当社の環境への取組みに対する評価

(回答者数=501)



当社の環境への取組みに対する評価

(回答者数=501)



(注)「大変評価できる」、「評価できる」の回答割合。

※: 選択肢を2014年度から一部変更 (「どちらともいえない」→「普通」)。

用語集をご覧ください

- 温室効果ガス
- 放射線
- 再生可能エネルギー

エコ・マザー活動におけるアンケート

保護者の方々と保育園等の先生を対象に、エコ・マザー活動(P.36)に関するアンケートを実施しています。

アンケートでいただいた貴重なご意見については、今後のエコ・マザー活動に活かしていきます。

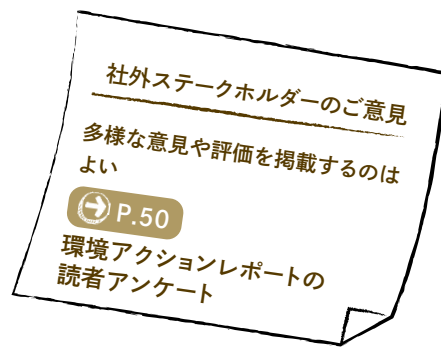
＜アンケート回答数＞

保護者：2,909 保育園等の先生：194

《 家庭での環境への取組み(保護者) 》 (複数回答可)

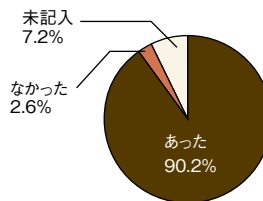
Q：ご家庭で取り組む環境に配慮した行動について、エコ・マザーから子どもたちに伝えてほしいことは何ですか

○ 照明はこまめに消すこと	76.9%
○ 歯を磨く時に水を止めること	69.6%
○ テレビを見る時間や使い方の工夫	56.9%
○ シャワーをこまめに止めること	48.2%
○ 冷暖房の設定温度への配慮	44.1%
○ ゴミを極力出さないようにする工夫	37.1%
○ エコバッグの利用	35.2%
○ 使用しない時の家電製品のプラグ抜き	33.8%
○ その他	2.7%



《 エコ・マザー活動へ参加後の変化(保育園の先生) 》

Q：エコ・マザー活動後に、お子さまに変化がありましたか



《 読み聞かせ後の子どもたちの変化(保護者 保育園の先生) 》

○ 節水するようになった	54.1%
○ 節電するようになった	29.4%
○ 節水・節電の声かけをしていた	13.9%
○ 「もったいない」と言うようになった	12.4%
○ 環境紙芝居に登場する合言葉を言うようになった	11.3%
○ 給食を残さないと言うようになった	7.7%
○ ゴミを分別したり減らすようになった	7.2%
○ 「CO ₂ が出る」と言うようになった	5.7%

環境に関するお問い合わせ等への対応

《 環境に関する主なお問い合わせ内容と対応(2016年度) 》

項目	件数	主な内容	対応概要
ご質問他	6	以前は、九電から苗木をもらい、地域住民から喜ばれていた。できれば、苗木の配付を再開してほしい。	配付していた苗木は、当社の農業試験場で栽培したものを活用していたが、同試験場は売却予定であり、他施設での栽培計画もないことから、再開は困難な状況であることをご回答。
		CO ₂ 排出係数の低い電気料金メニューで契約したい(状況によっては離脱も検討する可能性がある)。	他の料金メニューへの影響など、慎重な検討が必要となるため、お客さまニーズを踏まえながら将来に向け検討する旨をご回答。
		過去(2000年～2005年)のCO ₂ 排出係数を教えてほしい。	九州電力環境アクションレポートのバックナンバーに掲載している2000年～2005年のCO ₂ 排出係数をご回答。
		ISO14001規格の改訂に関する情報提供(ISO改訂を踏まえた対応の必要性)。	弊社では、一部事業所でISO14001の認証を取得していたが、2012年度をもって認証を返上。なお、グループ会社の中には、認証を取得している会社もあるため、グループ全体で改訂情報を共有し、適切な対応に努めている旨をご回答。
		1kWh当たりの炭酸ガス排出量を教えてほしい。(2件)	2015年度のCO ₂ 排出係数(0.528 kg-CO ₂ /kWh)をお伝えし、ホームページの掲載ページへのリンクをご案内。

社外評価

《 社外評価 》

評価名	主催者	実施時期	当社の評価
第20回「企業の環境経営度調査」	日本経済新聞社	2016年9月～11月	4位 / 13社(電力・ガス部門)

《 社外表彰 》

表彰名	対象	実施団体	受賞年月	
耳川水系総合土砂管理「耳川をいい川にする～森林とダムと川と海のつながり～」	土木学会 環境賞	耳川水力整備事務所	(公社)土木学会	2016年6月
省エネ推進功労者	(一財)省エネルギーセンター九州支部長賞	相浦発電所員 川内発電所員	(一財)省エネルギーセンター九州支部・九州地方電力効率化協議会	2017年2月

用語集をご覧ください

●ISO14001